

ONE DAY DESIGN ACADEMY KANSAI 2022. 08.11

@ NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART. OSAKA

日本インダストリアルデザイン協会 (JIDA) は 1952 年に設立された、工業デザインの職能団体です。

今年 2022 年に 70 周年を迎えるにあたり、関西ブロック主催の記念事業を開催します。

ONE DAY DESIGN ACADEMY とは、デザイナーを志す学生や若手デザイナーなど、未来を担うデザイナーに向けて 1 日に 6 組のゲストをお迎えしてそれぞれのテーマでお話いただくトークショーです。

Timetable 10:00 Open -16:30 Close

- | | |
|------------------------|---|
| Session 01 10:20-11:10 | 「キャリアをスタートする若手に知って欲しい、デザインの世界」
福定良佑：FUKUSADA STUDIO |
| Session 02 11:20-12:10 | 「新工芸 - 工芸的樹脂成形技法の追求 -」
三田地博史：新工芸舎主宰 |
| Session 03 12:20-13:10 | 「モビリティの未来（公共性とパーソナル性）」
皆川悟：ダイハツ工業 X JIDA メンバー |
| Session 04 13:20-14:10 | 「デザイン教育現場はどう変わっていくべきか？」
北條崇：京都芸術大学 X 是枝靖久：大阪芸術大学 X 野村伸介：京都精華大学 |
| Session 05 14:20-15:10 | 「スマートシティ OSAKA2025 は、デザイン思考が創る」
村田智明：ハーズ実験デザイン研究所 |
| Session 06 15:20-16:10 | 「海外のデザインと日本のデザインの違い」
喜多俊之：喜多俊之デザイン研究所 |

主催：公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 関西ブロック

協賛：アップルツリー、アプリアフト、荒木製作所、荒川技研工業、OK 化成、大阪デザインセンター、大阪ガスマーケティング
共和鋼業、摂津金属工業所、ダイハツ、タカタレムノス、ヒコみづのジュエリーカレッジ、モデルアート、YOKOITO

APPLE TREE
DIGITAL FABRICATION

AppliCraft

ARK 株式会社 荒木製作所

ARAKAWA

大阪ガス
Marketing

OK-KASEI

ODC
osaka design center

共和鋼業株式会社

QUALIA FACTORY
株式会社 摂津金属工業所

H I K O
W I Z U N O
C O L L E G E
J E W E L R Y

DAIHATSU

Lemnos

MODELアート

YOKOITO INC.

福定良佑：

1979 年大阪府生まれ。金沢美術工芸大学卒業後、シャープ株式会社を経て 2008 年ミラノドムスアカデミー（インテリアデザインコース）を修了。同年より、ミラノを拠点とするデザイナーパトリシア・ウルキオラのスタジオで経験を積み、イタリア有名メーカーとの家具、照明、キッチンウェアなどのプロジェクトに携わる。2012 年帰国後京都に FUKUSADA STUDIO を設立し、国内の企業をはじめ、イタリアやデンマークの企業とのプロジェクトの実績がある。家具・インテリア製品・家庭雑貨などの幅広いデザインを手掛け、それらのプロダクトは国際的なデザイン賞も多数受賞している。

三田地博史：

京都工芸繊維大学 / 大学院でデザインを学んだ後、産業機器メーカーで製品デザイン業務に従事。その後株式会社 YOKOITO でデジタルファブリケーションを中心とした研究活動・自社商品開発を行い、2020 年に新工芸舎を立ち上げる。デジタルファブリケーションが生み出す、コンピュータとアナログ世界の境界面に現代におけるモノの在り方を模索する。
平成元年生まれ。新工芸舎主宰

皆川悟：

ダイハツ工業株式会社 デザイン部第 2 デザインクリエイティブ室 室長、1996 年 千葉大学工学部工業意匠学科（現：総合工学科デザインコース）（1996 年 いすゞ自動車入社 海外向け SUV の内外意匠開発に従事）、2002 年 ダイハツ工業に中途入社、内装デザイナーとして、軽自動車、トヨタ向け車両の意匠開発を担当、2005 年～2006 年 トヨタヨーロッパデザイン デベロップメント（南フランス）に研修出向、2010 年～2011 年 ダイハツ欧州駐在員事務所（ブリュッセル）駐在、帰国後、先行開発担当として、キャストやムーヴキャンパスのデザイン企画に携わる。直近では、ミラトコト、タフトのデザインまとめ役を担当、2022 年 1 月より現職。

北條崇：

京都芸術大学プロダクトデザイン学科 教授、東京造形大学デザインマネジメント専攻卒業。現パナソニック（松下電工）に入社。住宅設備建材、高齢者向け商品、研究所開発テーマ等を担当。「エイジフリーシリーズ新カウンタータイプ」（車いす向洗面化粧台）「デリカートミニタイプ」（病院向け適温配膳車）「病院内自律搬送ロボット HOSPI」（ロボット）などを担当。G マーク 5 件取得。2003 年より item-s design 主宰。伝統産業などのデザインを、単にスタイリングだけではなくモノづくりのあり方としてコンサルティングしている。大学では、産学連携授業、伝統産業に関わる講義、プロジェクトを主に担当。産学連携企業は、ダイソー、無印良品京都山科店、ユニオン、エレコムなど。

是枝靖久：

reeddesign 代表、3D データを核としたデザインワークを得意とする工業デザイナー。外観だけでなく内包する機能やメカニズム、基板レイアウトなどを考慮した総合パッケージングの提案から筐体設計まで 3D ツールを使い倒すナニワの一匹狼（笑）公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 関西ブロック運営委員、大阪芸術大学デザイン学科准教授、著書「Rhinoceros 入門」ラトルズ「Rhinoceros 5.0 入門」ラトルズ「Rhino 6 入門」ラトルズ。

野村伸介：

筑波大学芸術専門学群卒、中小企業にて、メカトロニクス系の設計 / 部品加工 / 組み立て / プログラミングシステムエンジニアを経験したのち、総合デザイン事務所に勤務。その後独立し、現在は大学で教鞭をとる。モノ作りに一通り携わった経験を STEAM 教育に活かす、自称「デザイン職人」。
公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会（JIDA）関西ブロック運営委員、京都精華大学 デザイン学部 プロダクトデザイン学科 特任教授

村田智明：

株式会社ハース実験デザイン研究所 / METAPHYS 代表取締役、大阪公立大学 研究推進機構 21 世紀科学研究センター イノベーション教育研究所 客員教授
一般財団法人大阪デザインセンター理事、一般社団法人日本デザインコンサルタント協会理事、NPO 法人エコデザインネットワーク理事、大阪府研究開発型企業振興会（ORD）顧問
公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会ビジョンコミッティ、総務省地域人材ネット登録アドバイザー、公益社団法人国土緑化推進機構委員、NPO 法人資源リサイクルシステム センターアドバイザー、共同組合ジャパンデザインプロデューサーズユニオン 会員、九州大学非常勤講師、大阪市立大学工学部応用物理学科卒。三洋電機退社後、1986 年ハース実験デザイン研究所を設立。現在はデザイン思考から企画開発をサポートするデザインシンクタンクとして活動。提唱する S.S.F.B 法や感性価値ヘキサゴングラフなどがワークショップツールとして広く活用されている。プロダクトを中心に、G マーク金賞、DFA グランプリ、RED DOT BEST OF BEST、ジャーマンデザインアワード WINNER 賞、iF DESIGN AWARD GOLD、ソーシャルプロダクツアワード大賞、DIA SilverAward など国内外のデザインアワードで 200 点以上を受賞。オムロンの血圧計「スポットアーム」や Microsoft「Xbox360」を始めとする世界記録的な販売数を達成したデザインで、Newsweek の「世界が注目する日本の中小企業 100 社」に選定される。自ら運営するコンソーシアムデザインブランド METAPHYS は、「行為のデザイン」に基づいて協賛企業のコアコンピタンスを活かし、開発から販売までを実践している。また、経産省・中小機構の感性価値創造ミュージアムや東京都美術館新伝統工芸 プロデュース事業、越前の iiza、鳥取のなんぶ里山デザイン大学、新潟の百年物語やデザインラボ、奈良県産材の TEUD など、地域振興にも多く携わる傍ら、eco products design competition 2007～2010、social design conference 2011～2015 の開催を通じて「ソーシャルデザイン」という言葉を生み出し、社会性を持ったデザインの啓蒙に尽力している。著書に『ソーシャルデザインの教科書』、『問題解決に効く行為のデザイン思考法』、『感性ポテンシャル思考法』、『バクトリデザイン』事例に学ぶ「行為のデザイン」思考がある。

喜多俊之：

喜多俊之デザイン研究所、1969 年よりイタリアと日本でデザインの制作活動を始める。イタリアやドイツ、日本のメーカーから家具、家電、ロボット、家庭用品に至るまでのデザインで、多くのヒット製品を生む。作品の多くがニューヨーク近代美術館、パリ・ボンビドーセンターなど世界のミュージアムに永久収蔵されている。シンガポール、タイ、中国など、デザイン活性化の政府顧問を務め、日本「グッドデザイン賞」審査員長など、国内外のデザイン産業の要職を歴任。日本各地の伝統工芸・地場産業の活性化にも携わり、多方面で活躍。2009 年より国際見本市「LIVING & DESIGN」総合プロデュース。「イタリア共和国功労勲章コンメンダントレ」受勲、イタリア「ADI 黄金コンパス賞（国際功労賞）」など受賞多数。
大阪芸術大学教授。近年は日本の他、ヨーロッパ、アジアなどでセミナーやワークショップを開くなど、教育活動にも力を入れている。
著書：「デザインの力」、「地場産業+デザイン」、「デザインの探検」などがある。

開催場所：大阪中之島美術館 ホール
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 4 丁目 3-1

開催日時：2022 年 8 月 11 日
開場 午前 10:00 閉館 17:00

参加費用：一般 2,000 円（1 日通しチケット）
JIDA 会員、学生、無料

参加申込：公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 / JIDA 事務局
03-3587-6391 <https://www.jida.or.jp/>

参加定員：先着 150 名

